

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【公開番号】特開2019-24655(P2019-24655A)

【公開日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2019-007

【出願番号】特願2017-144945(P2017-144945)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 1 F

A 6 3 F 5/04 5 1 1 E

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月27日(2019.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の図柄が設けられた複数のリールを含んだリールユニットと、

前面が開口した遊技機筐体と、

前記遊技機筐体の正面視における左側にヒンジ機構を介して連結され、開閉可能な前扉と、

内部抽せん手段と、

前記リールを制御するリール制御手段と

を備え、

電源断が発生した後、電源断時処理が実行され得るよう構成されており、

前記リール制御手段は、特定のリールを加速させるための加速処理を所定期間に亘って実行し得るよう構成されており、

加速処理を実行している前記所定期間にて電源断時処理が実行され、その後電源復帰が行われた場合は、当該所定期間の残りの期間で前記特定のリールを加速させるための加速処理が続きから実行され得るよう構成されており、

前記遊技機筐体の内部には、

前記リールユニットと、

遊技媒体が貯蔵される主タンク部材と、

前記主タンク部材の近傍に設置され、前記主タンク部材から溢れた遊技媒体を貯蔵するための補助タンク部材と

が設けられており、

前記主タンク部材の一部には、前記主タンク部材から前記補助タンク部材へ向かって下るスロープ部が設けられており、

前記リールユニットは複数のネジ穴を有しており、

前記複数のネジ穴のうち少なくとも2以上のネジ穴には導電性を有する係止部品が挿通されており、

前記複数のネジ穴に挿通されている係止部品の中で、前記遊技機筐体の正面視における最も右側にある所定の係止部品の鉛直下方に前記補助タンク部材が配置されており、

前記複数のネジ穴に挿通されている係止部品の中で、前記所定の係止部品とは異なる特

定の係止部品の鉛直下方に前記スロープ部が配置されており、

前記補助タンク部材が前記遊技機筐体の内部に設置されている状態において、前記補助タンク部材内に貯蔵された遊技媒体が満杯か否かを検知するための第1部材と第2部材とを少なくとも有しており、前記第1部材と前記第2部材との間の距離は前記所定の係止部品の長手方向の長さよりも長くなるよう構成されており、

前記補助タンク部材が前記遊技機筐体の内部に設置されている状態において、前記補助タンク部材内に貯蔵された遊技媒体が満杯か否かを検知するための第1部材と第2部材とを少なくとも有しており、前記第1部材と前記第2部材との間の距離は前記特定の係止部品の長手方向の長さよりも長くなるよう構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る遊技機は、

複数種類の図柄が設けられた複数のリールを含んだリールユニットと、

前面が開口した遊技機筐体と、

前記遊技機筐体の正面視における左側にヒンジ機構を介して連結され、開閉可能な前扉と、

内部抽せん手段と、

前記リールを制御するリール制御手段と
を備え、

電源断が発生した後、電源断時処理が実行され得るよう構成されており、

前記リール制御手段は、特定のリールを加速させるための加速処理を所定期間に亘って実行し得るよう構成されており、

加速処理を実行している前記所定期間にて電源断時処理が実行され、その後電源復帰が行われた場合は、当該所定期間の残りの期間で前記特定のリールを加速させるための加速処理が続きから実行され得るよう構成されており、

前記遊技機筐体の内部には、

前記リールユニットと、

遊技媒体が貯蔵される主タンク部材と、

前記主タンク部材の近傍に設置され、前記主タンク部材から溢れた遊技媒体を貯蔵するための補助タンク部材と

が設けられており、

前記主タンク部材の一部には、前記主タンク部材から前記補助タンク部材へ向かって下るスロープ部が設けられており、

前記リールユニットは複数のネジ穴を有しております、

前記複数のネジ穴のうち少なくとも2以上のネジ穴には導電性を有する係止部品が挿通されており、

前記複数のネジ穴に挿通されている係止部品の中で、前記遊技機筐体の正面視における最も右側にある所定の係止部品の鉛直下方に前記補助タンク部材が配置されており、

前記複数のネジ穴に挿通されている係止部品の中で、前記所定の係止部品とは異なる特定の係止部品の鉛直下方に前記スロープ部が配置されており、

前記補助タンク部材が前記遊技機筐体の内部に設置されている状態において、前記補助タンク部材内に貯蔵された遊技媒体が満杯か否かを検知するための第1部材と第2部材とを少なくとも有しており、前記第1部材と前記第2部材との間の距離は前記所定の係止部品の長手方向の長さよりも長くなるよう構成されており、

前記補助タンク部材が前記遊技機筐体の内部に設置されている状態において、前記補助タンク部材内に貯蔵された遊技媒体が満杯か否かを検知するための第1部材と第2部材とを少なくとも有しており、前記第1部材と前記第2部材との間の距離は前記特定の係止部品の長手方向の長さよりも長くなるよう構成されていることを特徴とする遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

リール基部（例えば、リール枠MW）の外周に巻き付けられた帯状のリールテープ（例えば、リール帶MO）を有し、

前記リールテープには、前記リールテープの長手方向に沿って複数種類の図柄が配置されており、

前記図柄の種類として、第1図柄（例えば、白セブン図柄）と、第2図柄（例えば、ベル図柄）と、を少なくとも有し、

前記第1図柄の最大横幅値は前記第2図柄の最大横幅値よりも大きく構成されており、

前記リールテープの長手方向における両端部の少なくとも何れか一方には前記第2図柄が配置されており、且つ前記リールテープの長手方向における両端部の各々には前記第1図柄が配置されておらず、

前記リールテープの長手方向における長さは、前記リール基部における前記リールテープが巻きつけられる面の外周よりも長い

ことを特徴とする遊技機である。